

【FdData 中間期末：中学社会公民】

[景気とインフレ・デフレ]

◆パソコン・タブレット版へ移動

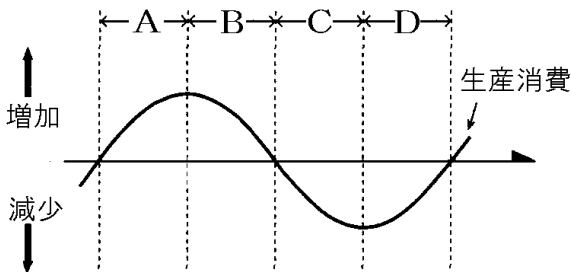
[景気変動]

[問題](3 学期改)

好景気のときは商品の売れ行きがよく、企業は生産を拡大し、給与所得も増大する。しかし、景気が後退し、不景気になると、商品の売れ行きが落ち、企業は生産を縮小するため、給与所得も減る。また、失業者が増大する。このような、好景気と不景気が交互にくり返されることを何というか。

[解答]景気変動

[解説]



好景気(好況)と不景気(不況)が交互にくり返されることを景気変動という。

A：好景気(好況)

商品の売れ行きが良くなり、工場では生産を増加させる。賃金の増加によって、消費がさらに拡大する。

B：景気後退

設備投資によって企業の生産能力が増大するが、需要の伸びが供給の伸びに追いつかなくなるため、(供給) > (需要)となり、企業収益が悪化し景気が悪くなり始める。

C：不景気(不況)

商品の売れ行きが悪くなり、企業は生産量を減らす。企業は在庫を減らし、設備投資もおさえて不況を耐えぬこうとする。しかし、企業の中には業績が極端に悪化して資金繰りがつかなくなり、倒産するところも出てくる。倒産やリストラによって失業者が増大し、そのことによって全体の消費がさらに落ち込む。

D：景気回復

生産調整・在庫整理がある程度進むと、(供給) < (需要) となるので、企業は生産を少しずつ増やすようになる。企業の生産活動が回復していくにつれて、全体の賃金も少しずつ増加するので、消費が回復し、そのことによって商品の売れ行きが回復していく。

※出題頻度：「好景気(不景気)のときの、生産、賃金、消費、失業者、物価の動き
○」

[問題](後期中間)

次の文中の①～③に適する語句を下の
[]からそれぞれ選べ。

(①)のときは商品の売れ行きがよく、家計の所得も増えるが、(②)のときは商品の売れ行きが落ち、家計の所得も減る。このくり返しを(③)という。

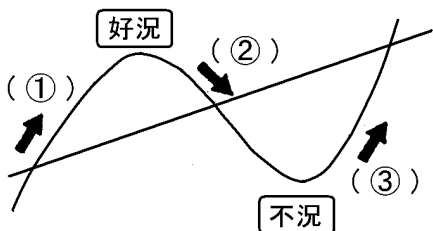
[景気変動 好景気 不景気]

[解答]① 好景気 ② 不景気

③ 景気変動

[問題](3 学期)

次の図を見て、各問いに答えよ。



- (1) 図の①～③にあてはまる語句を次から選んで書け。

[景気後退 恐慌 景気上昇 景気回復]

- (2) 好況と不況の時には、どのような現象が見られるか。あてはまるものを、次から2つずつ選んで記号を書け。
- ア 生産が縮小し失業者が増大する。
 - イ 生産が拡大し、雇用が増大する。
 - ウ 賃金が上昇し、物価も上昇する。
 - エ 物価が下落し賃金は上がらない。

[解答](1)① 景気上昇 ② 景気後退

③ 景気回復 (2)好況：イ，ウ

不況：ア，エ

[問題](2 学期中間)

次の各問いに答えよ。

(1) 好景気と不景気が交互にくり返すことを何というか。

(2) 次のことがらは好景気，不景気のどちらのことか。それぞれ，3 つずつ選んで記号を書け。

ア 商品がよく売れる

イ 商品が余ってしまう

ウ 失業者が増える

エ 企業はたくさん生産する

オ 企業は生産を縮小する

カ 賃金が高くなる

[解答](1) 景気変動 (2)好景気：ア, エ,
カ 不景気：イ, ウ, オ

[問題](2 学期期末)

次の文章中の①～⑦の()内からそれぞれ適語を選べ。

- ものやサービスが売れなくなると、企業は価格を①(上/下)げて売る努力をする。しかし、それでも売れないと生産を②(拡大/縮小)し、人件費を③(上/下)げようとする。その結果、失業者は④(増加/減少)する。
- ものやサービスが売れ、消費が拡大の一途をたどると、企業は生産を⑤(拡大/縮小)する。多くの労働力を必要とするため失業者は⑥(増加/減少)し、給与所得は⑦(上/下)がる。

[解答]① 下 ② 縮小 ③ 下 ④ 増加
⑤ 拡大 ⑥ 減少 ⑦ 上

[インフレーションとデフレーション]

[問題](3 学期改)

好況の時期には、景気が行き過ぎて物価が上昇するインフレーションの状態になることがある。物価が上がると貨幣価値は下がる。反対に、不況の時期には、消費が低迷して物価が下落する(X)の状態になることがある。物価が下がると、貨幣価値は上がる。文中の X に適語を入れよ。

[解答]デフレーション

[解説]

[インフレーションとデフレーション]

好景気 → インフレーション

不景気 → デフレーション

物価が上昇する現象をインフレーションという。一般に景気がよいときは、需要が供給を上回り、物価が上昇する。物価が上がると貨幣価値は下がる(仮に物価が2倍になったとすると、貨幣価値は半分になる)。

これに対し、物価が下落する現象をデフレーションという。景気が悪くなると、需要が供給を下回り、物価の下落が起こる。物価が下がると、貨幣価値は上がる。

※出題頻度：「インフレーション○」

「デフレーション○」

[問題](後期中間)

好況のときには、①物価が持続的に上がることがある。また、不況のときには②物価が持続的に下がることある。①、②のような状態をそれぞれ何というか。

[解答]① インフレーション

② デフレーション

[問題](2 学期期末)

①インフレーション, ②デフレーションの説明として正しいものをア～エよりそれぞれ選べ。

ア 物価が上がり続け, 通貨の値打ちが上がること。

イ 物価が上がり続け, 通貨の値打ちが下がること。

ウ 物価が下がり続け, 通貨の値打ちが上がること。

エ 物価が下がり続け, 通貨の値打ちが下がること。

[解答]① イ ② ウ

[問題](2 学期期末)

次のア～オの文章の中で、インフレーションに関する文章と、デフレーションに関する文章をそれぞれ2つずつ選べ。

- ア 物価が上がり、実質賃金が低下する。
- イ 経済活動が不活発になる。生産の縮小がおこる。
- ウ 物価が下がり商品の売り上げが減る。
- エ 通貨の価値が下がる。
- オ 企業のもうけは配当金として配られる。

[解答]インフレーション：ア，エ デフレーション：イ，ウ

[戦後の日本経済]

[問題]

次の文章中の①～③に適語を入れよ。

戦後の復興政策によって回復した日本経済は、1955年から(①)経済成長期に入った。その後、1973年の(②)危機によって経済成長率は低下したが、他の先進工業国と比べると依然、高い成長率を保った。1980年代後半には、地価や株価が急激に上昇する(③)経済になったが、1991年に(③)経済は崩壊し、平成不況とよばれる不景気になった。

[解答]① 高度 ② 石油 ③ バブル

※出題頻度：この単元はたまに出題される。

[問題](2 学期期末)

次の各問いに答えよ。

- (1) 80年代後半から90年代初めにかけて、地価や株価が急激に上昇したことを何というか。
- (2) (1)が崩壊した結果おこったことに関係ないものを、次から1つ選び、記号を書け。
- ア 物価が下がった。
 - イ 失業率が上昇した。
 - ウ 銀行の貸し出しが増えた。
 - エ 企業の売り上げが減った。

[解答](1) バブル経済 (2) ウ

【各ファイルへのリンク】

社会地理

[\[世界 1\]](#) [\[世界 2\]](#) [\[日本 1\]](#) [\[日本 2\]](#)

社会歴史

[\[古代\]](#) [\[中世\]](#) [\[近世\]](#) [\[近代\]](#) [\[現代\]](#)

社会公民

[\[現代社会\]](#) [\[人権\]](#) [\[三権\]](#) [\[経済\]](#)

理科 1 年

[\[光音力\]](#) [\[化学\]](#) [\[植物\]](#) [\[地学\]](#)

理科 2 年

[\[電気\]](#) [\[化学\]](#) [\[動物\]](#) [\[天気\]](#)

理科 3 年

[\[運動\]](#) [\[化学\]](#) [\[生殖\]](#) [\[天体\]](#) [\[環境\]](#)

【FdData 中間期末製品版のご案内】

このPDFファイルは、FdData 中間期末をPDF形式(スマホ用)に変換したサンプルです。製品版のFdData 中間期末はWindows パソコン用のマイクロソフトWord(Office)の文書ファイル(A4版)で、印刷・編集を自由に行うことができます。

◆FdData 中間期末の特徴

中間期末試験で成績を上げる秘訣は過去問を数多く解くことです。FdData 中間期末は、実際に全国の中学校で出題された試験問題をワープロデータ(Word 文書)にした過去問集です。各教科(社会・理科・数学)約1800～2100ページと豊富な問題を収録しているため、出題傾向の90%以上を網羅しております。

FdData 中間期末を購入いただいたお客様からは、「市販の問題集とは比べものにならない質の高さですね。子どもが受け

た今回の期末試験では、ほとんど同じような問題が出て今までにないような成績をとることができました。」、「製品の質の高さと豊富な問題量に感謝します。試験対策として、塾の生徒に FdData の膨大な問題を解かせたところ、成績が大幅に伸び過去最高の得点を取れました。」などの感想をいただいております。

◆サンプル版と製品版の違い

ホームページ上に掲載しておりますサンプルは、製品の全内容を掲載しており、どなたでも自由に閲覧できます。問題を「目で解く」だけでもある程度の効果をあげることができます。しかし、FdData 中間期末がその本来の力を発揮するのは印刷ができる製品版においてです。印刷した問題を、鉛筆を使って一問一問解き進むことで、大きな学習効果を得ることができます。さらに、製品版は、すぐ印

刷して使える「問題解答分離形式」、編集に適した「問題解答一体形式」、暗記分野で効果を発揮する「一問一答形式」(理科と社会)の3形式を含んでいますので、目的に応じて活用することができます。

[FdData 中間期末の特徴\(QandA 方式\)](#)

◆FdData 中間期末製品版の価格

社会地理, 歴史, 公民 : 各 7,800 円

理科 1 年, 2 年, 3 年 : 各 7,800 円

数学 1 年, 2 年, 3 年 : 各 7,800 円

ご注文は電話, メールで承っております。

[FdData 中間期末\(製品版\)の注文方法](#)

※パソコン版ホームページは, Google
などで「fddata」で検索できます。

※Amazon でも販売しております。

(「amazon fddata」で検索)

【Fd 教材開発】 電話 : 092-811-0960

メール : info2@fdtext.com